

創立125周年記念事業 Toyo University 125th Anniversary

2012年度に実施した創立125周年事業のうち、主なシンポジウム・講演会などのイベントを写真とともに一覧で振り返る。

5
May

1日—4日

東洋大学のあゆみ“伝統を未来に125”

26日

ドナルド・キーン東洋大学名誉博士講演会
「国際化時代における日本古典文学の可能性」

30日—6月5日

東洋大学図書館特別展示
「存在の謎に挑む哲学者 井上円了」



125周年スタートのプレイベントを文京シビックセンターで



ドナルド・キーン先生の登壇する講演会はすべて満席に

6
June

10日

全国行脚講演会 in 東京

23日

ホームカミングデー in 川越



丸の内オアゾでの図書館特別展示には約4,000名が来場



みごたえたっぶり、美しい展示記録

7
July

8日

全国行脚講演会 in 名古屋

8
August

1日

国際PPPフォーラム「自治体再生の切り札
シティ・マネジメントを考える」

4日

全国行脚講演会 in 福岡



各地で好評を得た全国行脚講演会。今年度は東京、名古屋、福岡、仙台で開催

9
September

1日

全国行脚講演会 in 仙台

15日

国際井上円了学会設立記念公開シンポジウム
「国際人 井上円了— その思想と行動」

16日

国際哲学研究センター主催国際シンポジウム
「グローバルな現実に向き合う哲学」



「国際井上円了学会」を発足し、国際的に井上円了研究を推進



附属学校の保護者や地域の皆さんが参加した文化講演会

10
October

13日

東洋大学文化講演会 in 牛久

14日

Autumnフェス～「クラスビングリスト・チェーン」の
ギネス世界記録に挑戦

15日—11月30日

ウィリアム・バトラー・イェイツ展企画
図書館特別展示

15日—12月15日

東洋大学井上円了記念博物館特別展
「井上円了旧蔵コレクション
—東洋大学創立者が残した「宝物」—



1,026名が繋がり、ギネス世界記録を達成！

10
October

20日

グリム童話刊行200年記念国際シンポジウム
「グリム童話200年のあゆみ」

東洋大学文化講演会 in 姫路

28日

東洋大学文化講演会 in 北区



「グリム童話200年のあゆみ」にはグリム童話のファンが多数参加した。ちなみにグリム兄弟、実は3兄弟



APPPIの1周年を記念し、マレーシア元首相マハティール閣下(右)が来学。アジアと日本の未来を語る

11
November

1日

フォトコンテスト入選発表

5日

朝霞キャンパス 乙武洋匡氏講演会

10日

ウィリアム・バトラー・イェイツ展企画
講演会「日本文化とW.B.イェイツ」
シンポジウム「W.B.イェイツと井上円了の世界」

16日

APPPI研究所設立1周年記念フォーラム
「PPPが国境を超える」

17日

ウィリアム・バトラー・イェイツ展企画
能楽鑑賞会 W.B.イェイツ原作「鷹姫」

バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター主催
国際シンポジウム「豊かな社会・平和な世界を
築くための科学・技術・教育の役割」

23日

記念式典／祝賀会
記念祭典・ホームカミングデー



イェイツの故郷・アイルランドDCUの学生と本学学生がSKYPEで対話



狭仙会がイェイツ原作の舞踊劇をもとにした新作品「鷹姫」を美しく力強く演じた



11月23日、フォトコンテスト入選作品のパネルが一室に展示された



バイオ・ナノエレクトロニクス研究センターによるポスターセッションには海外の研究者も多数参加

12
December

7日—8日

バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター主催
国際シンポジウム 日本・インド国交60周年記念
「Advanced Science and Technology」

15日

大学学長会議「今日の大学教育とグローバル人材の育成を考える」

ホームカミングデー in 板倉

論文コンテスト(12月15日締切、2013年3月1日に本学ホームページ上で発表)



2012年11月23日、125周年を迎えた東洋大学。式典にて代表学生が宣誓するシーン

Information 白山キャンパス1号館および3～5号館がリニューアルします

125周年記念館の竣工に伴い、白山第2キャンパスで行ってまいりました国際地域学部、国際地域学研究所および法科大学院の教育研究活動を平成25年度より白山キャンパスで行います。これにより、白山キャンパス内で各所がリニューアルします。

3号館 これまで教室・事務室として利用していた3号館は、PC教室を中心とした建物になります。今回の改修で最も変わる部分です。1号館と6号館にあるPC教室は、3号館へ集中させ、より充実したものとなります。

変更点

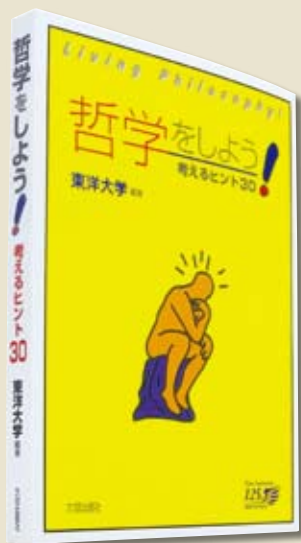
1号館 1号館地下1階の一部教室を図書館へと転用します。現在2号館にある図書館の拡張となり、図書館としての機能が更に充実いたします。また、2階・5階には、間仕切り替えにより大教室を設置します。

4号館 地下1階の柔道場部分が大教室に変わります。夏に食堂から転用になった3つの小教室とあわせて教室エリアを拡張します。

5号館 従来事務室であった部分を普通教室へと転用し、地下1階・地上階部分はすべて教室になります。様々な大きさの教室が今後の授業運営をサポートします。

— 工事中はご迷惑をおかけしますが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。 —





哲学的アプローチで現代社会のあり方を考える 『哲学をしよう！ー考えるヒント30ー』

本書は「哲学」を建学の理念にして生まれた本学が、創立125周年を迎えたことを機に、あらためて実践的な哲学教育を行うための教材としてまとめたもの。

テーマは「哲学と教育」「地域と社会」「環境と生命」など現代社会のあり方を示唆する30項目が挙げられており、現代社会に生きる人々にとって必要と考えられる諸課題の中から、特に哲学的思考を実践するために重要であると思われる項目をピックアップして構成されている。

各テーマの後段には、それぞれのテーマに関連した創立者 井上円了の言葉や理念を盛り込み、哲学的なものの見方や考え方を分かりやすく解説しているのが特長だ。執筆は、竹村牧男学長をはじめとする全10学部の教員が各章を分担して行った。

本学では来年度より、同書籍をテキストとして活用した新たな授業を展開する予定。「哲学をしよう!」というタイトルには、すべての学生に「哲学する」姿勢を磨いて欲しいという思いが込められている。

大成出版社 定価2,800円+税 2012年11月より東洋大学生協および全国書店で販売

東洋大学のいまが分かる。AERAムック大学シリーズ 『東洋大学 by AERA』

冊子のタイトルは「哲学を、持て。」

創立者の理念を受け継ぎつつ、次の時代に向けて、本学自ら大切にしていきたい強い決意を、スクールカラーである鉄紺(てつこん)色に刻んだ表紙は、同シリーズでもひととき目を惹くに違いない。

巻頭では、東洋大学の創立者である哲学者・井上円了博士をフィーチャー。全国5,291箇所を講演行脚して巡った社会教育活動の先駆者としての素顔、明治期に一人で3回も世界旅行をしたという国際人としての素顔、そして「妖怪博士」との異名をとったその理由に

迫りながら、数ある大学のなかで唯一、「哲学」を理念に誕生した本学の歴史をたどる。

さらに円了博士が創設した哲学堂公園(東京都中野区)を、NHK連続ドラマ小説「梅ちゃん先生」で好演した本学OBの俳優・高橋光臣さんがナビゲートする。

ほかにも本学が取り組む「国際化」や「キャリア教育」、注目の授業・サークル・キャンパス紹介、各界で活躍する卒業生が登場。東洋大スポーツの強さの秘密にも触れている。この1冊で東洋大学のいまが分かる。



朝日新聞出版 定価 838円+税 2012年11月より東洋大学生協および全国書店で販売

25年間のうたをフォトとともに綴る 『伝えあうころ〜かさなるいろ、かさなる想い〜』

本学創立100周年の記念事業のひとつとしてスタートした「現代学生百人一首」において、この25年間に寄せられた応募作品数は100万首超にのぼる。このフォトブックは、創立125周年そして本事業25周年の記念として編まれたものだ。

第1回から第25回までの入選作品を「学校生活」「家族」「ライフスタイル」「恋愛」「自分」「社会・時事問題」など新たに9テーマに分けて振り返りつつ、そこに写真を重ねるとい

これまでない「うたとフォトとの共演」を味わえる一冊になっている。写真は今回、本学学生と附属高校の生徒が撮影した。短歌と写真——異なる作者が、短歌を通じ、時代を超えて共鳴し合い、新たな世界を創り出している。

表紙に華を添えた25色は、これまで発表してきた作品収録冊子の背表紙の色。若者の短歌も、これらの色彩と同様に、何色にも輝く可能性を秘めている。今この時も、そして25年の時を超えても。

入手希望の方は <http://www.toyo.ac.jp/issyu/> をご覧ください。

